



サイエンスカフェ

science Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。

第69回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日 時：2023年 9月29日(金)
18:00 ~ 19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4
オンラインも開催します。

●テーマ：アインシュタインがみた分子の世界

うえ まつ ゆう き

●ゲスト：植松 祐輝 氏
(大学院情報工学研究院
物理情報工学研究系 准教授)

●申込み：必要 (定員 対面20名 100名程度)

参加費用 **無料**

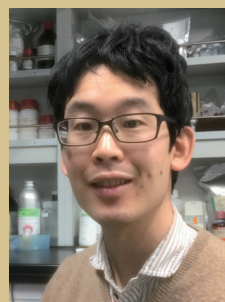
どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

Web：https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/pr/sciencecafe



ゲスト紹介

うえ まつ ゆう き

植松 祐輝 氏

大学院情報工学研究院
物理情報工学研究系
准教授

原子や分子という物質の最小単位は、古代ギリシャ時代から提案されては却下されてきた。今日、その存在を疑うものはいないが、このようになったのは1905年にアインシュタインにより提案されたブラウン運動の理論と、その実験的な検証を経たからである。講演では科学史的一幕を丁寧に振り返る。



国立大学法人

九州工業大学

情報工学部

